

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名【新】県立障がい福祉施設再整備推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内3494)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 902 千円 (前年度予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	902	0	0	0	0	0	0	0	902
決定額	902	0	0	0	0	0	0	0	902

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

県立の障がい福祉施設については、現在7施設あり、最も古いもので築47年が経過し、老朽化が進んでいる。また、利用者の重度化と高齢化が進み、設計が古いことから、これらに対応することが困難になってきている。

このため、県立の障がい福祉施設について、再整備を進めていく必要がある。

### (2) 事業内容

県立の障がい福祉施設について、今後のあり方と再整備方針を決定し、順次再整備を進める。

令和6年度には外部有識者を構成員とした「県立障がい福祉施設あり方検討委員会」を立ち上げ、今後の施設のあり方を含めた再整備方針について決定し、以降、当該方針に従い、再整備を推進していく。

検討の参考とするため、他県の先進施設の視察を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方  
県10/10

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	368	$10,500 \times 7 \text{人} \times 5 \text{回} = 367,500 \text{円}$
旅費	408	$8,000 \text{円} \times 5 \text{回} = 40,000 \text{円}$ (費用弁償) $77,030 \text{円} \times 3 \text{人} = 231,090 \text{円}$ (先進施設視察：宮城県) $45,510 \text{円} \times 3 \text{人} = 136,530 \text{円}$ (先進施設視察：山口県)
需用費	26	$150 \text{円} \times 7 \text{人} \times 5 \text{回} = 5,250 \text{円}$ (会議費) 20,000円 (消耗品費)
役務費	10	10,000円 (郵送代、電話代等)
使用料及び賃借料	90	$18,000 \text{円} \times 5 \text{回} = 90,000 \text{円}$ (会場借上料)
合計	902	

決定額の考え方

--

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
令和6年度中に県立障がい福祉施設のあり方及び今後の再整備方針を決定する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

### ○指標を設定することができない場合の理由

有識者による意見交換の場であり、指標を設定することができない。

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例の規定に基づき、障害のある人等と連携して推進するための体制を整備する必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手話言語の普及及び意思疎通手段の利用促進に関する施策について意見交換を図り、今後の事業の方向性などを得ることができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手話言語の普及及び意思疎通手段の利用促進に関わる外部有識者、障がい者団体、学校、企業等のメンバーと意見交換を行う集約的な場を設けることで、効率化を図っている。</li> </ul>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b> 手話言語の普及及び意思疎通手段の利用促進に関する取組みについて、県民の理解を高めるための啓発方法などに課題があり、より効率的かつ効果的な取組みを実施する必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b> 手話言語の普及及び意思疎通手段の利用促進に向け、課題整理や今後の施策の方向づけを行っていく。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	